

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	前方不注意による隊員のホースカーへの衝突事故
3. 体験した事例の中心的要素	ホースカーにてホース延長を行い、中継送水体制を整えたのち、車両近辺のホースを整理していたところ、前方不注意により、停車していたホースカーに衝突した。
4. 体験した事例の原因・理由	当事者にとって初めての火災出動であったため、焦りと緊張があった。また、ほかの隊員に後れを取ってはならないとの考えから、周囲に対する注意力が散漫となっていた。

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。
------------------	--------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成24年11月11日 午前9時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋内：道路上
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	激突
7. 事例体験時の活動	火災現場活動初期、[ 木造建物 ]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	ホースえい航
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[25]歳、勤続年数[0]年、現場経験年数[0]年、階級[消防士] 同様の活動[初めて]、任務[隊員]
○当事者B	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ] 同様の活動[ ], 任務[ ]
○当事者C	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ] 同様の活動[ ], 任務[ ]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A所属隊	現場到着	
経過2	当事者A	中継送水のため、ホースカーにてホース延長	
経過3	当事者A	中継送水体制完了	
経過4	当事者A	周囲のホースを整理中、停車していたホースカーに衝突した	左脛部受傷
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思ふか？
- ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思ふか？

危険情報を把握、予見できなかった。集中力、注意力がなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

注意力の欠如や焦りは、技術面および精神面での準備不足であると認識し、日常の訓練はもちろん、想定し得る様々な場面について、自分自身でシミュレーションを行うことを心掛けている。

○装備・資機材の対策について

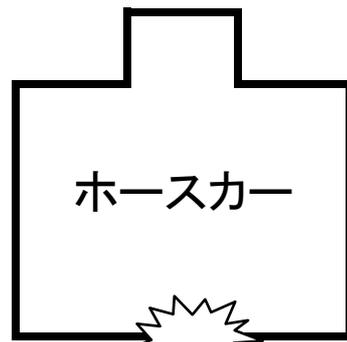
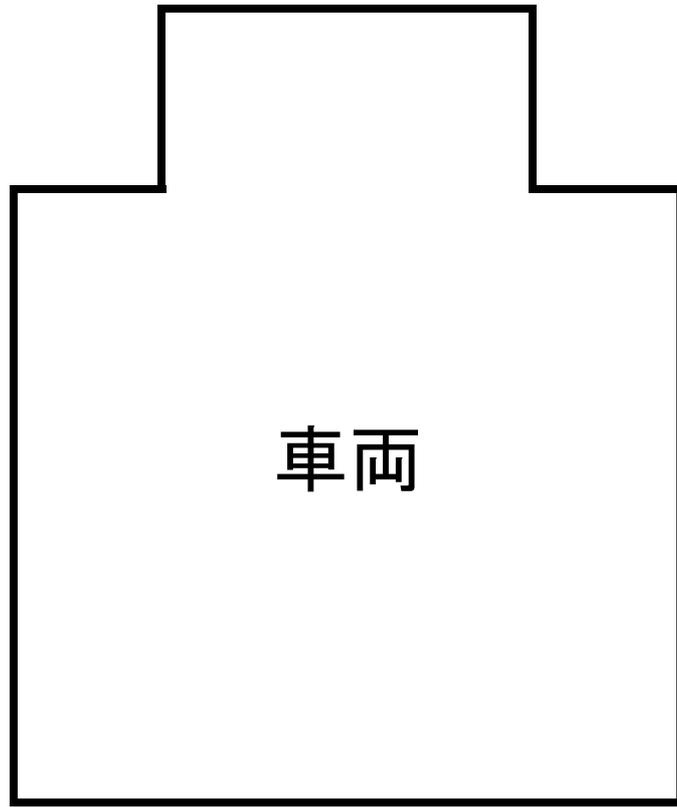
本事例は装備・資器材の不備が原因ではないため、特に新たな対策は取っていないが、個人装備品や個人所有敷材については毎当務欠かさず日常点検を行っている。

○活動環境の対策について

本事例ではホースカーが目前にあることを完全に忘れていたため発生した。そのため、活動中は常に危険予知を行うことにしている。

○指揮・情報伝達の対策について

活動中の他隊員とのコミュニケーションを、以前より密に取れるようになった。



移動した際に、前方不注意で  
ホースカーに衝突した

当事者A

